

記念誌担当になられた皆様へ

# 記念誌の作り方



株式会社アイワード

## 第一ステップ

何のために、いつまでに  
記念出版をするのかを、整理しましょう。

### 発行の目的

誰に、どのようなことを伝えたいのかを明確にするところから記念誌づくりは始まります。目的が明確になれば、おのずと掲載内容がみえてきます。

〈発行の目的例〉

- 会社(組織)のアイデンティティを確認する
- 節目を迎え気も心も一新する
- 創業者の労苦や創業精神を広く伝える
- 会社(組織)の変遷を後世に残す

### 配布する先

配布対象は、現在の役職員や構成員はもちろんですがOBやお客様など、どなたまでを対象とするのかによって、掲載内容も変わってきます。また、読者を意識することで、読み手が知りたい事項をイメージできるものです。

### 伝える内容

歴史の中で何が重要な柱なのか、特徴は何かをハッキリさせて、文章で伝えるのか、写真などを多用してビジュアル的に見せるのかなど、どのように想いを伝えるのか考えを定めていきます。

- 会社正史
- 周年記念誌
- 創業者評伝
- 工事誌
- 商品開発史

### 発刊までのスケジュール

記念式典に配布するかセレモニーの内容を誌面に盛り込んで式典後に配布するのかなどの計画を立てます。発行予定から逆算して、いつまでに何をしなければならぬのか初期の段階から大まかなスケジュールを決定しましょう。

### 予算を決める

本の規格を、どの大きさにするのか、上製本(ハードカバー)にするのかソフトカバーにするのかなど、おおよその仕様を決めるとともに、執筆費用や撮影にかかる費用などの予算配分も決めていきます。

執行可能な予算から部数や造本規模を逆算することもできます。

## 第二ステップ

記念誌の元となるものを、収集しましょう。

### 設立・沿革にかかわるもの

設立趣意書、登記関係の書類、設立・沿革に関する資料、定款、規定、許認可証、計画書類、議事録、報告書

### これまでの印刷物

過去の記念誌、広報誌、社内報、内部通達文書、パンフレット・カタログ・チラシ類、会社年賀状、名簿、カレンダー、ポスター、標語、新聞や雑誌の切り抜き、他社や関連団体の記念誌類や発行物

### 写真などの資料

場所や時代背景のわかる写真、建物や当時の様子がわかる写真、歴代代表者や役職員の顔写真、設備や施設などの写真、各種行事や催しの写真、記念式典などのアルバム、映画、ビデオ

### 企業(事業)活動の足跡

法人の理念や哲学が培われた経緯や背景、語り継がれてきた逸話やトップが書きためた文書類、有価証券報告書、決算書、総会議案書、営業報告書、年度計画書、経営計画書、ディスクロージャー、組織の変遷、売上(事業高)の推移、資本金の推移、企画書、プロジェクト実施計画書、特許関連など公文書、表彰状、社会貢献の実績、社名変更の記録、合併記録、新工場資料、上場資料

### 事業で使ってきたもの

身分証明書、社員証、ハガキや封書、旗、社章、襟章、ネームプレート、ユニフォーム、ゴム印、事務用品、業務に使っていた道具や治具、配布品

## 第三ステップ

### 発刊された記念誌を参考にしましょう。

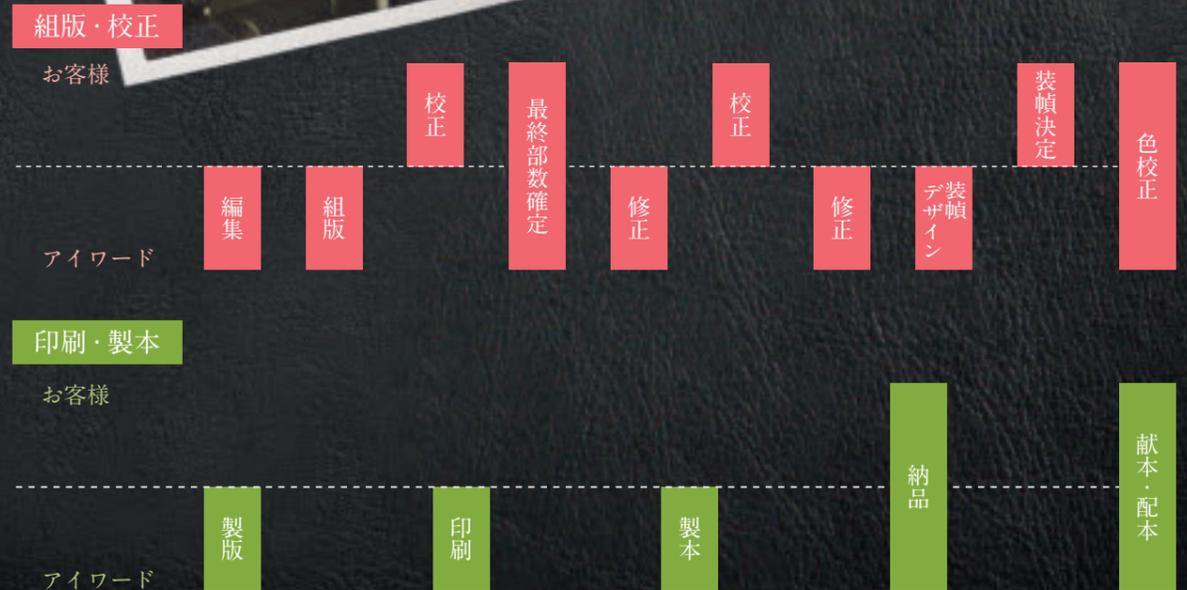
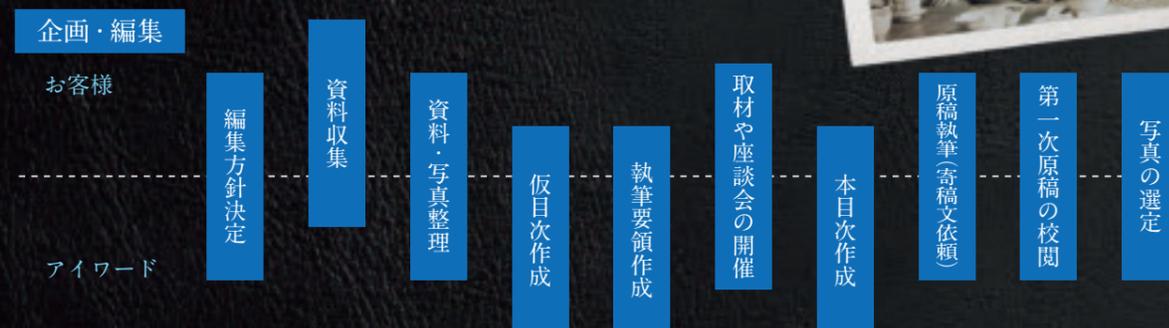
資料性が高い記念誌、構成員全員が加わって発行する記念誌、写真やデザインで魅せる記念誌、読む記念誌、会社案内のような記念誌など発行のスタイルはさまざまです。アイワードでお手伝いした5つの記念誌事例を紹介します。



## 目次

1. オーエスマシナリー株式会社様 ..... 6
2. 真宗大谷派千歳山 天融寺様 ..... 8
3. 医療法人知仁会 八木整形外科病院様 ..... 10
4. 株式会社モリワキ様 ..... 12
5. 社会福祉法人 北海道光生舎様 ..... 14

### 記念誌製作の一般的なフローを紹介します



## 記念誌作成ものがたり-1

# 最高の“ものづくり”を貫いてきた 苦闘の歴史を開発物語であらわす

## OS SPIRIT オーエスマシナリー株式会社 創立40周年記念誌

発行：オーエスマシナリー株式会社様

A4変型判、本文142ページ、PUR製本、ケース付き



装幀は、オーエスマシナリーの全てを表現することに努めました。ケース、カバーとも主材料であるメタルをイメージした用紙を使うとともに、取り扱い材料の幅の広さを訴究するためにコーヒードリップ製造機のドリップペーパーをイメージした用紙を巻頭トビラにし、点滴袋の充填機で使用される透明の化学素材を巻末トビラに用いています。

## OS INNOVATION



2000年をスタートにして行ったイノベーションの数々を「ミレニアム年からのチャレンジ」と冠した物語で展開しました。本社移転の決断と実行や、不可能を可能にした技術開発と努力の結果を紹介しています。

## 作るかどうかを準備会議で議論

創業40年を迎える同社は小樽から群馬へ本社を移転し、社名も変更していましたが、唯一、自社の歴史を著わしていたのが小樽時代に発行した『小樽製作所25年誌』でした。

「40年史を発行してはどうか…」という気運が高まる中、25年誌に携わった社員がほとんどいないため、25年誌の制作を行ったアイワードに一度相談してみるということで、声掛けがありました。

早速、群馬本社と小樽工場の関係者、そして25年史を担当したアイワードのスタッフが加わって編集準備会議が開かれました。

同社は、北海製罐株式会社の缶製造設備を担う子会社、小樽製作所として昭和49年に設立されました。創業25年以降は北海製罐グループ以外から仕事を確保していく事を最大のテー

マとし関東地区へ進出しました。親会社であった北海製罐の持株会社化によりホッカンホールディングス株式会社体制の一事業会社としてオーエスマシナリー株式会社が誕生しました。つまり子会社としての25年と独立会社として社業を再構築・発展させてきた15年の足跡があります。

編集準備会議では「土台と歩みが異なる会社の歴史を一つにまとめるより、この15年間に光をあてた記念誌の方が良いのではないか」、「グループ内の営業に特化してきた当社が突然、関東で新規顧客開拓を始めたのだから、その苦労話や納入した産業機器を紹介できないか」、「やったことのないことへチャレンジし続けてきたのだからプロジェクトXみたいなもの」などの意見が出されました。

その後、アイワードスタッフからは、編集準備会議の内容を整理した40年誌のテーマと目

## OS MARKETING



50年に向けた布石をテーマにした「OS MARKETING」の章では、新規顧客開拓の逸話や国際的な製品の開発に関わった事柄と新たな会社としてKE・OSマシナリーを設立した内容を収録し、最後に50周年へ向けた社長インタビューで締めくくりました。

次案、制作スケジュール、費用概算が提出され社内決裁にかけられました。

## こんな記念誌をつくりたい

企画書には、次のような発行テーマが記されていました。

- ・25周年の時に記念誌を編んでから15年。この15年は激動と変革の時期であった。当社の歩むべき道を探り会社一丸となって突き進んできた。だから「今」を迎えることができた。
- ・この15年の歩みを社史にありがたい記録集にせず「どんな人間がどんなことを考え、取り組んできたかが伝わる」記念誌にする。
- ・40周年は終着駅ではなく通過点である。40周年記念誌というよりは50周年、100周年に向けた記念出版を目指す。

こうして創立40周年記念誌の編集業務がス

タートしました。アイワードは「取材・執筆」、「撮影」、「編集・デザイン」、「制作」のスタッフを組織し、全て書き下ろしで出版する体制を整えました。

アイワードの仕上がりイメージは「一話完結型の開発物語」であり編集キーワードは営業技術本部長の言葉を基底とすることにしました。

「“自社の特徴はなにか…”と深く考え到達したポイントは、缶や飲料の容器・充填の分野で高速・精密な生産設備を生み出す技術があることです。これを異分野の大手企業の困りごとを解決する技術にして実現させてきた格闘の15年が新生オーエスマシナリーの歴史です。」

こうして9つの熱い物語が詰まった記念誌が完成しました。本書巻頭には、「挑戦の日々を送ってきた全てのOSマンのために」という文字が光り輝いています。

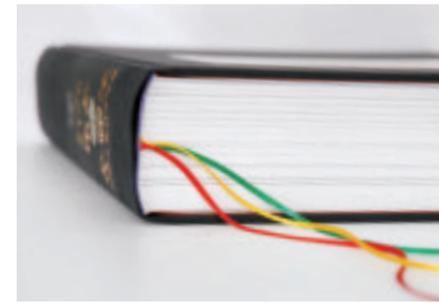
## 記念誌作成ものがたり-2

# 恵庭の発展とともに歩んできた 心の帰依所の歴史

天融寺 寺史  
百三十年のあゆみ 1886-2016

発行：真宗大谷派千歳山 天融寺様

A4変型判、本文640ページ、上製本、ケース付き



造本は、仏旗の五色をイメージし白は本文用紙、黒は表紙の布クロス、赤・黄・緑はスピンの込めています。(写真上)  
本文は縦組みの右開き、資料編は横組みで左開きとしました。資料編の中には天融寺所蔵の貴重な雑誌も収録しました。(写真左)



古い資料と新しい発見や解説を可視化した誌面の数々



## 百年慶讃法要が機縁の記念出版

『天融寺 寺史 一百三十年のあゆみ』は、30年の歳月を経て刊行された労作です。本書は天融寺開教百年慶讃法要の記念出版として企画され当時、若院であり現在の五世住職が原稿を執筆することでスタートしました。

「…いざ文章にするという段になりますと、草創期の資料を一つ一つ丹念に読み解き、かつ所蔵資料との関連や、同時代の本山・教区の動向も十分考慮しながら天融寺草創期の歩みを辿りつついかねばならず、自らの遅筆も手伝って、ある程度納得のいくものを書こうとなると、かなりまとまった時間と労力を費やさねば

ならないことが判然としてきました…(本書あとがき)」という事情により、結果的に百三十年史を目指すこととなりました。

アイワードは30年間のうち最後の3年間を、お手伝いしました。刊行組織は、執筆を住職が行い、本文図版の選定と校正は編纂委員が行う、編集・ページアップはアイワードが進めていく。という体制をとりました。結果50回以上の編集会議と100回以上に及ぶ編纂委員の作業によって成し遂げられました。

## 徹底した資料整理に基づいた執筆

住職が最初に取り組んだことは、天融寺所蔵資料目録を整理するため一つ一つを専用の袋に



天融寺正面参道の今昔を、1938年の写真と2015年の写真と比較し、本堂竣工時の三世住職から五世住職までの庭木、中庭への想いを誌面にあらわしました。



三世住職の葬儀の様子を葬儀記録帳に残っていた行列順を記した図と実際の写真を並べて紹介しています。

入れてタイトルや年代、関連事項を記載したことです。その数は700袋以上になりました。更にこの作業を通して天融寺年表の作成、天融寺役員名簿の作成を実施しました。これら基礎作業は8か月の時間が必要でした。本書が史実に基づいた大著となったのは、この基礎作業が大きな役割を果たしたことは、いうまでもありません。

本書あとがきに「ところで、本書の編纂は元より天融寺開教以来の歩み・歴史をできうるかぎり明らかにしておきたいということが本旨ですが、それと同時に、遠く本州よりこの北辺の地に移住して来られた大勢の入植者の皆さんが、酷寒・貧苦と闘いながら、いかに心血

を注いで天融寺の創立と発展のためにご尽力くだされたか、また聞法の道場としての天融寺を舞台として、いかに真摯に先祖伝来の浄土真宗の教え、お念仏の御法義を生きる依り所として聴聞されてこられたかという、開拓者とその子孫の方々の宗教的営為の歩みを、具体的事例に即して少しでも記録として留めておきたいという願いが込められています。」とあるように、全体的な装幀・構成から本文の細部にわたるレイアウト、豊富な写真による誌面の可視化の為に刊行に携わった全員の英知と努力が結実された記念誌となっています。

記念誌作成ものがたり-3

多くの職員が編集委員となり、  
全職員が登場する病院記念誌

医療法人知仁会  
八木整形外科病院 20周年記念誌

発行：医療法人知仁会 八木整形外科病院様  
A4変型判、本文100ページ、PURがんだれ製本



さまざまな活動を通して、地域の健康向上に寄与した足跡を誌面に掲載しました。左から「札幌韧带再建セミナー」、「避難訓練」、「20周年記念祝賀会」、「手稲山麓だより」、「年表」。



20周年を迎えて新たな決意を語る八木理事長の写真を大きくレイアウトした、印象深い巻頭誌面。右ページは、北海道大学安田和則教授の祝辞文。



病院業務に支障をきたさないようにスケジュールを編集委員会が調整し、プロカメラマンにより職場を次々と撮影していききました。



「思いやり」「誠意」「smile」「絆」など20周年の思いをメッセージボードに全職員が書き込みユニークな誌面となりました。

記念誌編集委員会を招集

八木整形外科病院は、平成7年9月に八木知徳理事長が、手稲八木整形外科病院を開業したことがスタートとなります。当初は得意分野である膝関節外科の専門病院としての特徴を持っていましたが、10年後の平成17年11月に山の手通病院を引き継ぎ、西区に本拠を移すとともに、整形外科全般の疾患に取り組んできました。

手稲区、西区において地域医療、社会福祉にも大きく貢献してきましたが、この20年を節目に北海道内各地の膝関節疾患の方にとって、最良の病院、守り神になりたいとの強い思いを新たにし、この思いをベースに記念誌を発行す

ることになりました。

八木知徳理事長からの指示で、開院20周年記念誌編集委員会が立ち上げられ招集されたのは、八木理事長を筆頭に15人にのぼる職員でした。実行部隊の中心メンバーは、日常業務の合間を縫って、八木理事長の思いを聞き取り、どんな記念誌にすべきなのか時間を惜しんで検討するとともに、他委員への情報発信も欠かさず行っていました。

記念誌って、実際どう作るの？

記念誌の発行のコンセプトは決定したものの、これからいったい何をすればいいのか？「20周年記念式典には間に合わないけど、な

んとか20周年度内に発刊したい」、「ここはやっぱり専門家の意見をもらいたい、でもどこに連絡すればいいの？」アイワードのホームページを見て1本の電話があり、アイワードスタッフが編集委員3人と面談を重ねました。

話し合いの結果、基本コンセプトをもとに、「信頼」「健康」「笑顔」をキーワードとした写真を中心に編集することを決め、各職場への原稿依頼、病院外部スタッフへの協力を求めるとともに、仕上がり見本を作成しイメージを共有化しました。

そして初めての校正刷りが提出されました。実際の校正刷りを手にした編集委員からは、「イメージが具体化された」と、さまざまな意

見が出され、急テンポで作業が進められました。

全職員の協力により撮影を実行

病院業務という事情から各職場の撮影などは、院内への配慮がかかせず、条件を整えるのが非常に厳しい面もありましたが、編集委員会のリードにより、全6回の撮影が無事終了しました。

八木理事長、非常勤医師を含め20名の医師団のほか、全職員・外部スタッフ全員が誌面に登場しました。どの顔からも「患者さんにとって、最良の病院になりたい」との思いが伝わるものになりました。

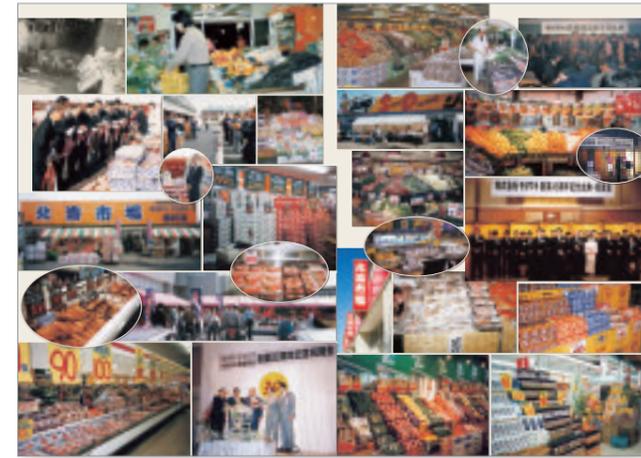
記念誌作成ものがたり-4

# 地域のお客様に喜んでいただける商品を提供して50年

## 株式会社モリワキ 創立50周年記念誌

発行：株式会社モリワキ様

A4判、全20ページ、中綴じ製本



なつかしい写真の数々で50年の歴史をたどりました。



毎年掲げられた年度スローガンには、会長の熱き思いが込められていました。



毎年度スローガンのもと、全社員が力を合わせていきました。

*Interview*  
代表取締役会長 森脇賢治インタビュー

## 改革と挑戦の日々

—森脇会長はどちらのご出身でしょうか？

昭和17年に中川郡幕別町の農家に生まれました。長男でしたから農家を手伝いながら高校を卒業し、20歳を過ぎてから札幌にきました。活然と札幌だった気がします。帯広にいたのでは親にすぐ連れ戻されるかもしれないと思ったんでしょう。当時の農家は長男を簡単に離さなかったんです。

札幌で仕事を探したところ、たまたま不動産会社に「運転手募集」とありました。この時に面接をしてくれた部長、本間さんといいますが、私の人生を変えた方です。「なんか君、面白い男だな。札幌、分かるのか?」「分かりません。分かりませんが、道順だけ教えていただければ、運転は確かです」と。

当時の札幌は札幌キリンビック前で、大変な土地ブームでしたから、お客さんを乗せて現地に行く案内係として、札幌中を巡りました。部長が車の中でお客さんに土地の説明をします。運転しながら半年から1年間で札幌の不動産に対する土地勘がついたように思います。

—昭和41年に「五条市場」で「森脇青果店」として独立開業されました。経緯を教えてください

運転手になって2年後ぐらいに、私の務めていた不動産会社がスーパー事業に手を出したんですね。農家出身だったから「野菜売り場を担当してくれ」といきなり言われました。それが南5条西12丁目の「五条市場」です。広さは100坪くらい。漬物屋が工場として使っていたところを借りて市場にしました。

野菜担当になると、親加内での野菜関係の仕事をしていって上司に教わりながら毎日、中央卸売市場に連れて行ってもらいました。「これ何という野菜ですか?」「これはセロリと言うんだ」「いくらで売らんですか?」「何でもいりから倍掛けで、50円から100円とか、そうやってつけろ」と。いい加減なもんです。

創業の心が熱く語られた森脇会長のインタビュー巻頭部分。

## 記念誌DMでのつながり

アイワードでは、定期的に記念誌のご案内を周年を迎える企業や団体へ送付しています。「ちょうど50周年式典を挙げるにあたり、記念となる冊子を検討していたところへ、アイワードのDMが届きました。一度記念誌作成について話を聞きたい」との連絡に、アイワードスタッフが訪問し、佐藤貴代美社長と面談しご要望をお聞きしました。

その後数回の面談のなかで、50周年を新たなスタートとして、創業の原点を継承するため、森脇賢治会長のインタビューが必要であること

—それが昭和57年7月開店の「青果ふたば新道店」です

スーパー競争から逃げたかたちの「ふたば」の反省から、次は競合店があってもいいから、お客様の集まる場所にしようという思いを強く持っていました。ふたば新道店は一世風靡（ふうひ）した土日営業のディスカウントストア「カウボーイ」の発祥の店「カウボーイ伏古店」の隣です。中野晃さんが昭和55年にカウボーイを始めてから2年たった頃で、半端なく繁盛していました。もう繁盛というものを越えていました。この隣で商売をするの確実な商売だと思っただけです。そうして近くを探すとびつり隣に100坪くらいのタマネギ倉庫がありました。そこで持ち主に「この倉庫、僕に全部貸してもらえないか」と。「全部だと高いぞ」「おいくらですか?」と聞くと「200万出せば貸してやる」と言う。こうしてその倉庫を借り占めました。自分は青果売り場の部分だけ確保し他はテナントに貸しましたから「10万円分の家賃を払えばいいんだ」という考えでスタートしたのが「ふたば新道店」です。

カウボーイの一善勢のあった頃で、「ふたば新道店」も異常な物量をさばきました。4トン車が何台も横並びになりました。大根だけでトラック1台、イモだけでトラック1台、バナナだけでトラック1台という量です。現場の社員には「あんまり（このことを）言ったらダメだよ。狂った世間と言われるよ」というぐらいだったんです。

ふたば新道店の裏に50坪土地をさらに借りてふたば新道2号店をつくりました。週末しか営業しない店です。雨などで完売した時の量も半端ではない。平日にそれを処理するのは大変です。開店に遅すのではなく、自分で処理しようとして、バスと集まりワゴンと安売りする火曜日と金曜日のお店として「西野4条店」、月曜日と水曜日のお店として「発寒店」を順番につくりました。

—カウボーイと一緒に歩む道は取らなかったのです

この頃は、時代の変り目、ハイパーマートのようなものが旬でしたし、札幌では生協が伸びていました。コンビニもぽつぽつと出てきた。それらの中から「どれが生き残るのだろう」と見ていました。確かに土日営業のカウボーイさんは日本を制するくらいの勢いでしたが、「これらの消費者は小ロットを求めるはず」「少量でも買

多くの困難に立ち向かった50年の歴史が写真と文章で綴られています。

を提案し、実行することになりました。

## 改革と挑戦の日々

創業の心・原点を正しくヒアリングするため、プロライターの起用して取材が開始されました。ライターは北海市場の利用客という縁もあり、会長からさまざまなお話を聞くことができました。

南5条西12丁目にあった「五条市場」でのスタートから、「マルイチマーケット」時代、その後昭和51年のイトーヨーカドー、ダイエー進出による琴似戦争といわれた際、西野の奥に小さな市場を構えた時代。昭和57年に

—平成8年は創業30年。翌年に社名を株式会社モリワキにされました。ただ拓銀破綻などもあり、この頃から北海道は大変苦しい時代になりましたが

拓銀とは深い取り引きはなく幸いにして影響はありませんでしたが、それからの20年間はいつも真綿が首の辺りにまとわりつくような、そんな時代がずっと続いたんじゃないでしょうか。どんな企業でも振るいの目にかけられて落とされる。その振るいの目が15年前、10年前とどんどん大きくなっていきました。成長の難しい時代でした。その20年間は「生き延びるぞ!」という強い決意を持ちながら今に至った気がします。今、生き残ったら後5年。それを生き残ったらまた5年……。昔はそれが10年単位でしたが、今は5年単位、ひょっとすると3年単位で生き残りを図る時代になっています。これは10年前から私が役員会でよく言っていることです。

—「スーパージャンプ」は平成8年に「ニューショッピング北海市場」オープン後、全店が「北海市場」となりましたが「ニューショッピング北海市場」はどのようなお店だったのですか?

北広島で地主さんご縁があり、300坪の箱をいただきましたから、旧市街に店を出したんです。30年前に自分が商売を始めた頃の市場のイメージを今風にしました店をつくらうと思いました。強力な魚屋と八百屋、内屋のテナントを入れたイメージで、軽く仕切りを入れ、部門毎に制服も変えました。それぞれに個性をつけさせました。その時に「名前は何がいいかな? 北海道だし、北海市場だな」「北海市場」はここからスタートしました。

森脇会長が常に考えてきたことは「お客様に喜んでいただく」ことでした。

「青果ふたば新道店」のオープンと、西野4条店、発寒店、宮の森店、東店を展開した時代と多くの困難に遭遇するなか、それを乗り越えることができた源泉は、「常にお客様が一番、お客様に喜んでいただく」ことへのこだわりであり、「鮮度と価格」がお客様への最大のGIVEという思いでした。

平成7年から続けている年度スローガン…今年のスローガン「創業50年 お客様へ感謝更なる飛躍」に込めた強い思いを現社長に託し、創業100年にむけて、チャレンジ精神・創業の精神を全社員が心に刻み、新たなスタートをきる内容となりました。

記念誌作成ものがたり-5

# 50年から60年へ、更に 2056年の100周年の未来へ

## 社会福祉法人北海道光生舎 50周年記念誌／60周年記念誌

発行：社会福祉法人北海道光生舎様

50周年誌：A4版変型、本文124ページ、アジロ製本カバー付

60周年誌：A4判、本文56ページ、PURがんだれ製本



50周年記念誌

60周年記念誌



舎内アルバム百数十冊から貴重な写真をセレクトした50年誌



### 苦闘の歴史を50年誌であらわす

昭和31年9月、故高江常男名誉理事長が提唱する「真の障がい者雇用と生活安定」を目指した独自の経営理念「企業授産」として、光生舎赤平ドライクリーニング工場が操業しました。当時、障がい者への視線は冷たいものでしたが、名誉理事長と舎員は歯を食いしばり、歴史を作ってきました。50年誌に掲載した膨大な写真には、苦闘のなかにも、生き生きとした表情の舎員と名誉理事長の笑顔がちりばめられています。

反授産運動、大火災などの困難を乗り越え、企業授産の使命を受け継ぎ、舎是である「誠心誠意、努力敢闘、創造実践」を誰よりも具現化している高江智和現理事長は次のように語っています。

「創業50年からの10年間は、創業者が倒れた後、舎員と障がい者の皆で作ってきた歴史であり、創業者が残したものを、それを大切に守りながら社会の変化に対応し、将来の礎を築くべく、力を合わせて作り上げた歴史」でした。60年誌は、その歩みを皆で編集していこうという内容です。



60周年記念誌では、左側、右側両方を表紙にして40年後の未来につなげる構成にしました。

これまでの10年とこれからの40年をつなぐトビラ。



2056年光生舎の未来は明るいものとなっています。



利用者、OB・OG、お取引様にも登場してもらいました。



活気あふれる各職場、施設を紹介しています。



みんなで描いた40年後の当舎の姿です。

### 全舎員で作り上げた60年誌

記念誌編集委員会の責任を担った三上副理事長は、50周年記念誌発刊の際にも編集責任者として陣頭指揮した経験を持ち、編集委員メンバーと60周年記念誌のイメージを検討してきました。50周年誌をベースにどう現在の光生舎の姿を表すのか、また70周年、80周年、100周年にどうつなげていくのか。さまざまな話し合いにより、次のスタイルが決まりました。

・100周年に向けたアイデアとして将来を描く誌面を構成する。

- ・各施設の紹介は基本は左側から見開き2ページ、レイアウトは自由裁量。
- ・この10年の歴史は左側が表紙。2056年将来を語るページは右側が表紙。
- ・こうして、40年後にむけた舎員メッセージ、未来予想図などユニークな誌面が構成されました。これまで多くの困難を乗り越えてきた道。これからも幾多の困難があろうとも、それを乗り越える強い意志、そしてこれからも全舎員がともに手を携えて前に突き進む思いがトビラのむこうに見える記念誌が完成しました。

■ アイワードがお手伝いした主な記念誌

20周年

- ・医療法人知仁会  
八木整形外科病院様
- ・社会福祉法人  
小樽北勉会望海荘様
- ・札幌弁護士会  
法律相談センター様
- ・北海道ユニセフ協会様



日本ユニセフ協会と歩んだ20年  
北海道ユニセフ協会様

30周年

- ・真駒内滝野霊園様
- ・社会福祉法人小樽北勉会様
- ・北海道栽培漁業振興公社様
- ・北海学園大学様
- ・医療法人勉仁会様
- ・札幌大学様
- ・北海道文化放送(株)様
- ・一般財団法人前田一步園財団様
- ・日本弁護士連合会野球連盟様



30年の歩み  
前田一步園財団様

40周年

- ・中道リース(株)様
- ・札幌水材(株)様
- ・オーエスマシナリー(株)様
- ・蓼科山聖光寺様
- ・札幌羊ヶ丘教会様



40周年記念誌  
札幌水材株式会社様

50周年

- ・一般社団法人  
札幌地区トラック協会様
- ・札幌大谷大学短期大学部様
- ・社会福祉法人  
北海道光生舎様
- ・北海道建築士事務所協会様
- ・北海学園大学同窓会様
- ・(株)ウヤマ様
- ・北海道山岳連盟様
- ・北見工業大学様
- ・西創成親和会様
- ・(株)鈴木商会様
- ・北海道エナジティック(株)様
- ・(株)クワザワ様
- ・(株)札幌テレビ塔様
- ・札幌学院大学様
- ・酪農学園大学様
- ・北海道大学獣医学部様

- ・北星学園大学様
- ・自動車短期大学様
- ・北海道尚志学園高校様
- ・北海道真駒内養護学校様
- ・北海道放送(株)様
- ・(株)つうけん様
- ・(株)よねざわ工業様
- ・北海道商工指導センター様
- ・北海道尚志学園様
- ・北海三共(株)様
- ・アカツキ交通(株)様
- ・(株)札幌銀行様
- ・北海道ケズイック・コンベンション様
- ・(株)モリワキ様
- ・北海道大学医学部  
硬式庭球部様
- ・北海道リース(株)様

60周年

- ・空知興産(株)様
- ・社会福祉法人  
北海道光生舎様
- ・北海道建築士事務所協会様
- ・北海学園大学同窓会様
- ・(株)よねざわ工業様
- ・北海道商工会議所連合会様



Pioneer Spirit II  
北海学園大学同窓会様

70周年

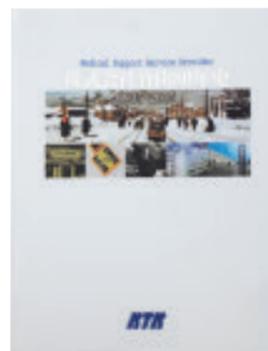
- ・(株)北海道新聞社様
- ・大本北海道様
- ・八紘学園様



北の大地とともに70年史  
北海道新聞社様

80周年

- ・(株)竹山様
- ・社会福祉法人札幌慈啓会様
- ・(株)フカミヤ様
- ・名寄高校様



株式会社竹山80年史  
株式会社竹山様

100周年

- ・東京歯科大学同窓会  
北海道地域支部連合会様
- ・北海道大学合唱団様
- ・真宗大谷派法養寺様
- ・(株)ほくやく様
- ・連峰山宝流寺様
- ・美唄沼の内町様
- ・(株)スハラ食品様
- ・双葉高校様
- ・北海道建設業協会様
- ・帯広建設業協会様
- ・札幌燃料協同組合様

120周年

- ・札幌市立信濃小学校様
- ・日本基督教団札幌教会様
- ・北海高校様



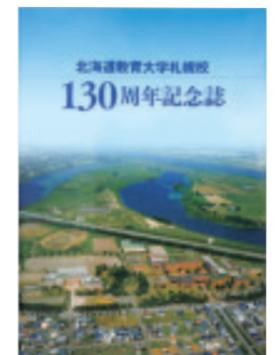
百二十周年記念誌  
札幌市立信濃小学校様

130周年

- ・真宗大谷派天融寺様
- ・北海道教育大学札幌校様



創立125周年記念  
北海道高等学校様



130周年記念誌  
北海道教育大学札幌校様

# 記念誌作成参考資料

## 西暦・和暦対照表

西暦	和暦	干支	西暦	和暦	干支	西暦	和暦	干支	西暦	和暦	干支
1868	慶応 4 明治 元	戊辰	1907	40	丁未	1945	20	乙酉	1985	60	乙丑
1869	2	己巳	1908	41	戊申	1946	21	丙戌	1986	61	丙寅
1870	3	庚午	1909	42	己酉	1947	22	丁亥	1987	62	丁卯
1871	4	辛未	1910	43	庚戌	1948	23	戊子	1988	63	戊辰
1872	5	壬申	1911	44	辛亥	1949	24	己丑	1989	昭和 64 平成 元	己巳
1873	6	癸酉	1912	明治 45 大正 元	壬子	1950	25	庚寅	1990	2	庚午
1874	7	甲戌	1913	2	癸丑	1951	26	辛卯	1991	3	辛未
1875	8	乙亥	1914	3	甲寅	1952	27	壬辰	1992	4	壬申
1876	9	丙子	1915	4	乙卯	1953	28	癸巳	1993	5	癸酉
1877	10	丁丑	1916	5	丙辰	1954	29	甲午	1994	6	甲戌
1878	11	戊寅	1917	6	丁巳	1955	30	乙未	1995	7	乙亥
1879	12	己卯	1918	7	戊午	1956	31	丙申	1996	8	丙子
1880	13	庚辰	1919	8	己未	1957	32	丁酉	1997	9	丁丑
1881	14	辛巳	1920	9	庚申	1958	33	戊戌	1998	10	戊寅
1882	15	壬午	1921	10	辛酉	1959	34	己亥	1999	11	己卯
1883	16	癸未	1922	11	壬戌	1960	35	庚子	2000	12	庚辰
1884	17	甲申	1923	12	癸亥	1961	36	辛丑	2001	13	辛巳
1885	18	乙酉	1924	13	甲子	1962	37	壬寅	2002	14	壬午
1886	19	丙戌	1925	14	乙丑	1963	38	癸卯	2003	15	癸未
1887	20	丁亥	1926	大正 15 昭和 元	丙寅	1964	39	甲辰	2004	16	甲申
1888	21	戊子	1927	2	丁卯	1965	40	乙巳	2005	17	乙酉
1889	22	己丑	1928	3	戊辰	1966	41	丙午	2006	18	丙戌
1890	23	庚寅	1929	4	己巳	1967	42	丁未	2007	19	丁亥
1891	24	辛卯	1930	5	庚午	1968	43	戊申	2008	20	戊子
1892	25	壬辰	1931	6	辛未	1969	44	己酉	2009	21	己丑
1893	26	癸巳	1932	7	壬申	1970	45	庚戌	2010	22	庚寅
1894	27	甲午	1933	8	癸酉	1971	46	辛亥	2011	23	辛卯
1895	28	乙未	1934	9	甲戌	1972	47	壬子	2012	24	壬辰
1896	29	丙申	1935	10	乙亥	1973	48	癸丑	2013	25	癸巳
1897	30	丁酉	1936	11	丙子	1974	49	甲寅	2014	26	甲午
1898	31	戊戌	1937	12	丁丑	1975	50	乙卯	2015	27	乙未
1899	32	己亥	1938	13	戊寅	1976	51	丙辰	2016	28	丙申
1900	33	庚子	1939	14	己卯	1977	52	丁巳	2017	29	丁酉
1901	34	辛丑	1940	15	庚辰	1978	53	戊午	2018	30	戊戌
1902	35	壬寅	1941	16	辛巳	1979	54	己未	2019	平成 31 令和 元	己亥
1903	36	癸卯	1942	17	壬午	1980	55	庚申	2020	2	庚子
1904	37	甲辰	1943	18	癸未	1981	56	辛酉	2021	3	辛丑
1905	38	乙巳	1944	19	甲申	1982	57	壬戌	2022	4	壬寅

## 1975(昭和50)年以降の主な社会年表

●1975(昭和50)年	8月	イラク軍がクウェートに侵攻	7月	知床が世界遺産に登録								
5月	日本女子登山隊エベレスト登頂に成功	10月	東西ドイツ統合	12月	日本の総人口が統計開始以来初の減少							
7月	沖縄国際海洋博覧会開催	●1991(平成3)年	1月	湾岸戦争勃発	●2006(平成18)年	1月	日本郵政株式会社が発足					
9月	天皇・皇后両陛下下初のご訪米	6月	雲仙普賢岳で大規模火砕流発生	6月	夕張市が財政破綻	6月	夕張市が財政破綻					
●1976(昭和51)年	3月	道庁爆破事件	12月	ソ連崩壊	11月	佐呂間町で巨大竜巻事故発生						
6月	札幌地下鉄東西線開通(琴似-白石間)	●1992(平成4)年	6月	第1回 YOSAKOI ソーラン祭り開催	●2007(平成19)年	7月	新潟中越地震、柏崎刈羽原発で放射能漏れ					
7月	田中角栄前首相、ロッキード事件で逮捕	6月	PKO 協法力案可決、成立	8月	米サブプライム問題が世界経済に影響							
●1977(昭和52)年	1月	東京品川で青酸コーラ無差別殺人事件	10月	天皇・皇后両陛下下初の中	10月	郵政民営化がスタート						
8月	有珠山噴火	●1993(平成5)年	1月	EU12カ国による単一市場発足	●2008(平成20)年	7月	北海道洞爺湖サミット開催					
9月	日本赤軍、日航機乗っ取り(ダッカ事件)	5月	Jリーグ開幕	9月	リーマン・ブラザーズ経営破綻							
●1978(昭和53)年	3月	札幌地下鉄南北線延長(北24条-麻生)	7月	総選挙で自民党過半数割れ55年体制崩壊	10月	南部陽一郎、小林誠、益川敏英ノーベル物理学賞、下村脩ノーベル化学賞受賞						
8月	北大・札幌大登山隊カラコルム未踏峰に登頂	7月	北海道南西沖地震	10月	北洋銀行、札幌銀行合併							
●1979(昭和54)年	1月	初の国立大学共通一次試験	●1994(平成6)年	6月	製造物責任(PL)法成立	●2009(平成21)年	5月	裁判員制度施行				
3月	米スリーマイル島原発事故	6月	松本サリン事件	6月	松本サリン事件	9月	民主党鳩山内閣が成立					
5月	三菱大夕張鉱業所ガス爆発、16人死亡	10月	札幌地下鉄東豊線延伸(豊水すすきの-福住)	10月	大江健三郎ノーベル文学賞受賞	●2010(平成22)年	1月	日本航空会社更生法を申請				
●1980(昭和55)年	5月	モスクワオリンピックへ日本不参加を決定	●1995(平成7)年	1月	阪神・淡路大震災	10月	鈴木章、根岸英一ノーベル化学賞受賞					
9月	イラン・イラクが全面戦争に突入	9月	知床横断道路開通	3月	地下鉄サリン事件	12月	東北新幹線全線開通					
●1981(昭和56)年	3月	中国残留孤児、初の正式来日	●1996(平成8)年	2月	豊浜トンネル岩盤崩落事故	●2011(平成23)年	3月	東日本大震災、福島第一原発事故				
10月	北炭夕張新鉱ガス突出事故、93人死亡	10月	福井謙一ノーベル化学賞受賞	9月	石狩市、北広島市誕生	7月	FIFA 女子ワールドカップで日本初優勝					
●1982(昭和57)年	2月	東京・ホテルニュージャパン火災	●1998(平成10)年	2月	郵便番号7ケタ制実施	●2012(平成24)年	5月	東京スカイツリー開業				
2月	日航機が羽田沖に墜落	10月	三越事件で岡田前社長逮捕	7月	香港がイギリスから中国へ返還	10月	山中伸弥ノーベル生理学・医学賞受賞					
●1983(昭和58)年	4月	東京ディズニーランド開業	●1983(昭和58)年	4月	東京ディズニーランド開業	3月	北海道暴風雪で8人死亡					
5月	札幌市人口5大都市入り	5月	札幌市人口5大都市入り	5月	札幌市人口5大都市入り	6月	富士山の世界遺産登録が正式決定					
9月	大韓航空機墜落事件	●1984(昭和59)年	3月	グリコ・森永事件	●2000(平成12)年	3月	23年ぶりに有珠山噴火					
●1984(昭和59)年	3月	グリコ・森永事件	5月	古谷製菓倒産	11月	新1万円・5千円・千円札発行	8月	新500円硬貨発行				
5月	古谷製菓倒産	●1985(昭和60)年	3月	青函トンネル本坑が貫通	●1985(昭和60)年	3月	青函トンネル本坑が貫通	10月	白川英樹ノーベル化学賞受賞			
11月	新1万円・5千円・千円札発行	3月	青函トンネル本坑が貫通	4月	NTT、JT 発足	●2001(平成13)年	1月	中央省庁再編1府12省庁に				
●1985(昭和60)年	3月	青函トンネル本坑が貫通	4月	NTT、JT 発足	8月	日航ジャンボ機墜落事件	6月	札幌ドームオープン				
4月	男女雇用機会均等法施行	●1986(昭和61)年	4月	男女雇用機会均等法施行	●1986(昭和61)年	4月	男女雇用機会均等法施行	9月	アメリカ同時多発テロ事件			
7月	札幌芸術の森オープン	4月	ソ連、チェルノブイリ原発で炉心溶解事故	●2002(平成14)年	1月	欧州12カ国単一通貨「ユーロ」流通開始	5月	日韓ワールドカップ開催				
●1987(昭和62)年	4月	国鉄分割民営化、JR 開業	7月	釧路湿原が28番目の国立公園となる	10月	ブラックマンデー株価暴落	10月	北朝鮮拉致被害者5人が帰国				
4月	国鉄分割民営化、JR 開業	7月	釧路湿原が28番目の国立公園となる	10月	ブラックマンデー株価暴落	●1988(昭和63)年	3月	青函トンネル、JR 津軽海峡線開通				
7月	釧路湿原が28番目の国立公園となる	10月	ブラックマンデー株価暴落	●1988(昭和63)年	3月	青函トンネル、JR 津軽海峡線開通	6月	札幌市で「世界・食の祭典」開幕				
10月	利根川進ノーベル生理学・医学賞受賞	12月	札幌地下鉄東豊線開通(栄町-豊水すすきの)	●1989(昭和64・平成元)年	1月	昭和天皇崩御、平成に改元	3月	イラク戦争開戦				
●1988(昭和63)年	3月	青函トンネル、JR 津軽海峡線開通	●1989(昭和64・平成元)年	1月	昭和天皇崩御、平成に改元	5月	個人情報保護法が成立					
6月	札幌市で「世界・食の祭典」開幕	12月	札幌地下鉄東豊線開通(栄町-豊水すすきの)	4月	消費税導入(税率3%)	8月	北海道日本ハムファイターズが誕生	8月	北海道日本ハムファイターズが誕生			
12月	札幌地下鉄東豊線開通(栄町-豊水すすきの)	●1990(平成2)年	6月	PMF 開催	11月	厚別区、手稲区誕生で札幌市は9区制に	●2004(平成16)年	8月	高校野球選手権大会で駒大苫小牧高が全国制覇			
●1989(昭和64・平成元)年	1月	昭和天皇崩御、平成に改元	●1990(平成2)年	6月	PMF 開催	●1990(平成2)年	6月	PMF 開催	10月	新潟中越地震		
1月	昭和天皇崩御、平成に改元	4月	消費税導入(税率3%)	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故			
4月	消費税導入(税率3%)	11月	厚別区、手稲区誕生で札幌市は9区制に	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故			
●1990(平成2)年	6月	PMF 開催	●1990(平成2)年	6月	PMF 開催	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故	12月	スマトラ沖大地震		
6月	PMF 開催	6月	スパイクタイヤ規制法が成立	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故	●2005(平成17)年	4月	JR 福知山線列車事故

## ■会社概要

社 名 株式会社 アイワード  
代 表 者 代表取締役社長 奥山 敏康  
業 務 内 容 ブック印刷専門印刷業  
創 業 1965(昭和40)年9月  
資 本 金 67,185千円  
商 況 年商37億1965万円(2021年3月期)  
従 業 員 数 役員7名、正社員200名、嘱託10名、  
契約社員28名(2021年5月現在)  
主要得意先 北海道、札幌市、北海道新聞社、  
(敬称略) 北海道大学、北海道教育大学、  
北海学園大学、酪農学園大学、  
北海道大学出版会、日本書道評論社、  
東京商工リサーチ、医学書院、南山堂、  
日本加除出版、帝国書院、ケイパブック、  
サラブレッド血統センター  
取 引 銀 行 北洋銀行、北海道銀行、日本政策金融公庫、商工中金

アイワードは、記念出版部門でいくつかの社会的な評価をいただいております。

1991年 北海道知事賞

『日本北辺関係旧記目録』  
(北海道大学図書刊行会様発行)

1996年 日本書籍出版協会理事長賞

『えべつ昭和史』(江別市様発行)

2002年 北海道知事賞

『スピーカーが風になり、ブラウン管が光になる時  
—北海道とともに50年HBC』(北海道放送様発行)

2007年 日本書籍出版協会理事長賞

『北の出土刀を科学する』(佐藤矩康様発行)



本社



東京営業部



札幌工場



石狩工場



株式会社 アイワード

<https://iword.co.jp>

本 社 〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5番地91  
東京営業部 〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階  
札 幌 工 場 〒060-0033 札幌市中央区北3条東4丁目5番地64  
石 狩 工 場 〒061-3241 石狩市新港西3丁目768番地4

TEL 011-241-9341 FAX 011-207-6178  
TEL 03-3239-3939 FAX 03-3239-3945  
TEL 011-251-0009  
TEL 0133-71-2777 FAX 0133-71-2895



個人情報保護の  
マネジメントシステム  
プライバシーマーク  
2005.9.6 認証取得



商業オフセット印刷の国際規格  
Process Standard Offset  
ISO 12647-2  
2008.8.9 認証取得



障がい者就労支援マーク  
北海道が制定し、障がい  
者の就労支援企業である  
ことを示します。